

名古屋

ワーク・ライフ・バランスを向上させる

勤務間インターバル制度

導入セミナー 3/3 参加無料

「勤務間インターバル」について、「働き方改革」の一環として注目が集まっています。そこで、厚生労働省は、その導入のための無料セミナーを開催致します。

有識者による「勤務間インターバル」活用のメリットについての講演や、「勤務間インターバル」活用事例の紹介、「職場意識改善助成金(勤務間インターバル導入コース)」の説明などを行いますので、是非、ご参加ください。

主催

厚生労働省

開催日

平成29年 3月3日(金)

時間

14:00~17:00 (開場 13:30、16:00~助成金相談会)

参加費

無料 *セミナー会場の受付で、お名刺を1枚ご提出ください。

会場

AP名古屋.名駅

〒450-0002

愛知県名古屋市中村区名駅4-10-25 名駅IMAIビル8

アクセス:

JR東海道線「名古屋駅」より徒歩約5分

名鉄・近鉄「名古屋駅」下車徒歩約2分

セミナーのお申込みは

<https://kinmukan-interval.info/nagoya.php>



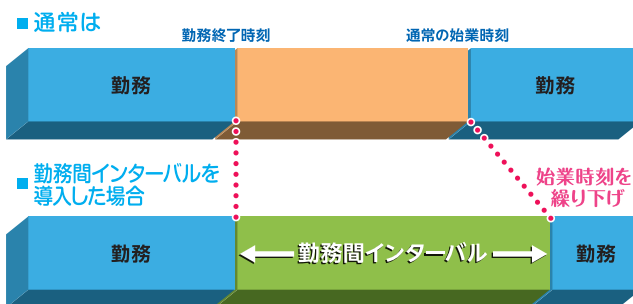
「勤務間インターバル」とは

「勤務間インターバル」は、勤務終了後、次の勤務開始までの間に一定時間以上の「休息期間」を設けることで、働く方の生活時間や睡眠時間を確保するものです。労働者が日々働くにあたり、必ず一定の休息時間を取れるようにするというこの考え方に関心が高まっています。

「勤務間インターバル」を導入した場合として、例えば右図のような働き方が考えられます。

この他、ある時刻以降の残業を禁止し、次の始業時刻以前の勤務を認めないこととするなどにより「休息期間」を確保する方法も考えられます。

長時間の残業をした翌日の始業時刻は…



プログラム(予定)

第1部 14:00~

- ・厚生労働省 労働基準局挨拶
- ・講演: 「勤務間インターバル」活用のメリット (50分程度)
講師: 久保 智英 氏 (独立行政法人 労働者健康安全機構 産業ストレス研究グループ 主任研究員)
- ・事例紹介: 「勤務間インターバル」の導入事例 (20分程度)
- ・質疑応答

第2部 15:40 (予定)~

- ・「職場意識改善助成金(勤務間インターバル導入コース)*」について (10分程度)
厚生労働省 労働基準局より説明
- ・質疑応答
*質疑応答終了後、助成金についての相談会を設けます。(1時間程度)

講師プロフィール

久保 智英 氏

独立行政法人 労働者健康安全機構
労働安全衛生総合研究所 産業保健ストレス研究グループ 主任研究員

2003年3月中央大学文学研究科心理学専攻にて修士(心理学)、2007年10月 名古屋市立大学 医学研究科 予防社会医学専攻にて博士(医学)を取得。同年4月(独)労働安全衛生総合研究所に任期付研究員として着任。研究員、客員研究員(フィンランド労働衛生研究所)を経て2013年4月より主任研究員。専門は産業保健心理学、睡眠衛生学、労働科学。現在、労働者の疲労と睡眠の研究に従事。産業疲労研究会世話人(2011年から現在)



※ 「職場意識改善助成金(勤務間インターバル導入コース)」について

厚生労働省では、勤務間インターバルの導入に取り組む中小企業事業主の皆さんへの助成制度を開始しました。

対象事業主: 労働者災害補償保険の適用対象である中小企業事業主

成果目標: 勤務間インターバルを導入すること。

支給対象となる取組: 就業規則等の作成・変更費用、研修費用、労務管理用機器等の導入・更新費用 など

支給額: 支給対象となる取組に要した費用の3/4。最大で50万円。

詳しくはこちらをご覧ください ▶

